

文責はいずれも本人です。

ふるさと納税について
プレミアム商品券について

井元 宏三 (新波クラブ)



① ふるさと納税のご数年の寄附額の動向はどのようになっていますか。
財務部長 令和3年度は約6億8000万円、令和4年度は約8億6600万円、令和5年度は約7億7900万円となっております。

② 寄附額減少の要因の一つに返礼品のボリュームの無さを指摘する声もある。ボリュームを上げ寄附額を上げるためにも、提携団体の手数料平準化を行うことはできないか。
財務部長 提携4団体の手数料は、業務内容や経費などに基づき算定されていると認識しており、手数料に関して市から言及することはできない。

③ 平戸城においては、その景観、桜の植栽などで、観光客数の増加につながっていると認識しているが、この景観を生かし、平戸城での屋外サウナなどを計画し、更なる誘客につなげられないか。
文化観光商工部長 今後については観光庁の補助事業の採択待ただが、平戸城内において、健康や美容、精神のリフレッシュなどを目的とした新たな旅行形態であるウエルネスツーリズム事業を計画し、国へ事業申請している。

各議員のQRから一般質問の録画放送をご覧ください。

その事業では、平戸城内の空きスペースにワーケーションや移動式サウナなどを予定しており、新たな魅力づくりに取り組むたい。
④ プレミアム商品券引き換え期間について、高齢者からは「年金の支給月が外れている」ことや、使用期間については、「夏の中元シーズンまで設定してほしい」との声を聞いているが、期間設定についてはどのような協議を行ったのか。
文化観光商工部長 引き換え販売期間の設定については、年金支給月の関係で購入を控えた市民もいるということなので、今後同様の事業を検討する場合は、使用期間のことも含めて配慮する必要があると考えている。

⑤ プレミアム商品券は現在1冊1万円で購入することになっているが、以前から提案していた、1冊5千円での販売を検討した経緯はあるのか。
文化観光商工部長 検討は行ったが、販売額は変わらずとも発行部数が増え、印刷経費が増えることで他の経費に影響することを考慮し、これまで同様1冊1万円としている。

⑥ ハラスメントの早急な実態把握には職員アンケートは必要と考えるが検討出来ないか。
総務部長 実施する方向で検討し、実態の把握に積極的に努めていく。

ハラスメント防止対策について
平戸温泉について

松口 茂生 (平戸市民クラブ)



⑦ 職員のメンタルヘルスケアを含むハラスメント防止対策の取り組みは。
市長 「平戸市職場におけるハラスメントの防止に関する規程」に基づき、日頃から管理監督職員に対して、常にアンテナを張り、部下の状況を把握し、職員それぞれが対等に業務を遂行できるように良好な職場環境を実現する事を指示しているところであり、意識向上に向けた研修会についても毎年行っている。また、直接、上司に相談が出来ないことなどを想定し、人事課長直通の「職員ホットライン」を設置し、メンタルヘルスケアについても、関係法令に基づき毎年度、専門業者に委託を行い、ストレスチェックを実施している。ストレスが強い職員には産業医の面談を勧奨し、併せて不安や悩みなどの相談体制として、臨床心理士によるカウンセリングを実施し、健診についても毎年行い、職員のケアに努めている。

⑧ 議員によるハードな要望や言動で悩む職員の実態は無いのか。
総務部長 ハラスメントと思われるレベルの具体的な報告は無い。

⑨ 源泉がある中野地区について湯湯施設を検討出来ないか。
文化観光商工部長 中野地区は生月・中南部への通り道であり安満岳や「かたりな」への分岐点として多くの観光客が訪れる実態もある。拠点施設の必要性は認識しているが、現時点において行政における整備は考えていない。しかしながら、中野地区には魅力ある体験施設等もあるのでそういった事業者と協力した平戸温泉の魅力づくりを行う際は一緒に連携を図っていききたい。

公共施設(遊休施設)の有効活用等について
奥平戸観光について
世界遺産中江ノ島について

大村 謙吾 (新時代)



⑩ 行政財産や公的施設などは縦割り管理になるが市民が活用する際、分かりやすく対応しているか。
副市長 苦情窓口の表示不足などトラブルの原因もある。今後の改善などの必要性を感じる。

⑪ 今後の仕組みづくりを行う。
⑫ 今後、公共施設の空間を活用することは立派な企業誘致、オフィス系の誘致に対しても効果的と思う。
市長 平戸のような半島の先にぼつんと立地するメリットというのは企業経営者に魅力的とは思わない。来る可能性がないところに公共投資、税金をつぎ込むことは冒険だと思つ。

⑬ 年間3万人が訪れる九州百名山の志々伎山付近のトイレ、道路など社会资本整備計画について問う。
文化観光商工部長 市の整備計画はない。市長 環境省や県担当課と協議し整備をお願いする。

⑭ 志々伎お魚まつり、最西端の酒蔵まつり、70周年津吉茶市など奥平戸イベントについて問う。
文化観光商工部長 チラシPRや観光協会のSNSでの情報発信、お魚まつり、酒蔵まつりには、平戸港交流広場から前津吉港を経由したシャトルバスを運行し、イベント支援を行っている。市長 大変素晴らしい評価するイベント。これからも情報発信を含めた支援を行う。

⑮ 上段の野、志々伎山、トヤクなど観光客を周遊させる努力をしている。迷わない案内看板が必要と思う。
文化観光商工部長 県道進入後の誘導案内板等の必要性を感じている。今後検討する。

⑯ 資源が豊富な平戸、修学旅行者が移住するなど成果がある民泊事業をどう思うか。
市長 コロナ後、一旦途絶えたエネルギーを元に戻すにはこれまで以上の努力が必要、今後の課題も山積している。一方、日本ファームステイ協会と連携して新しいコンテンツは本市の魅力と考える。促進して支援していきたい。

⑰ 中江ノ島のお社が雨風で風化している。世界遺産として行政対応を問う。
市長 私有財産には特別な理由がないと行政は手が出せない。関係者に現状を伝え、協議してもらおうほかないと考える。

全国市議会議長会より表彰を受けられました

議員在職25年以上	議員在職10年以上	
吉住 威三美 議員	神田 全記 議員	松尾 実 議員
		

次回定例会のお知らせ

次回の平戸市議会定例会は、9月初旬に開会予定です。詳しい日程は、後日、議会運営委員会で決定され、防災無線・防災メール・市ホームページで公表します。

